



ピッコロ通信

No.172

2022.11.2

〒204-0021 東京都清瀬市元町 2-18-10 1階
☎090-8304-1076 Fax042-444-4546
<https://www.piccolonet.org/>

赤くて ちいさい 色づいた葉をみると思い出す、かわいらし あかちゃんの手

「赤ちゃんパワーって、すごーい!!」うさぎの森企画主宰 大森靖枝 氏

私は20年くらい前から毎年2回、ファミリー・サポートきよせの保育サービス講習会で、「子どもとあそび」の講師をさせていただいております。今年の春まで40年間、劇団風の子の劇団員として活動し、清瀬の講習会も風の子の劇団員としてお伺いしておりましたが、今年の春からは、うさぎの森企画という任意の会を立ちあげて、子どもたちや親子向けの劇あそびなどを行っております。

風の子で活動していた時はなかなかフリーで動くことができなかったのですが、「赤ちゃんのチカラ」の企画にはとても昔から興味がありましたので、今回は念願の見学ができました。コロナとなってしばらくは清瀬の中学でこの企画はできなかったようですが、今年は清瀬市全中学で実施できたとのこと、本当に良かったです!と思いました。

最初は各クラスでピッコロの講師の皆さんの赤ちゃんクイズのようなことをなさいました。「あなたと顔を合わせたとき赤ちゃんが泣いたとしても、それは発達段階の一つである人見知りなだけで、決してあなたのことが嫌だからじゃあないですよ。」と教えてくださったあと、とても背の高い、男の子たちが友達と二人で、いないいないばあ!の練習をしたり、「赤ちゃんをあやした時、1回だけでは笑わない時もあるが、それは最初は観察してるんですよ。」と教えてもらったり。各年齢の発達段階を教えてもらったり。赤ちゃんの人形をみんな順番に抱っこしたり。現在子育てをされている男の担任の先生が赤ちゃん人形を抱っこされている姿を見ることがとても生徒さんたちには新鮮だったようで、教室は笑いにあふれていました。

その後、大きな部屋に行くことで5つの敷物に分かれていて、そこには消毒されているおもちゃがおいてありました。まずはピッコロさんの説明があり、その後主役の赤ちゃんたちが10組ほどママに抱っこされて教室に入ってきました。私は、赤ちゃんが慣れていないお部屋に入ったから、もっと泣くのではないかと感じておりましたが、おもちゃに興味を持ったのかどうか、ほとんどの赤ちゃんが、泣くことはありませんでした。

生徒さんも積極的にあやしたり、おもちゃを渡してあげたり、抱っこしてとても素敵な空間になっていきました。一人お兄さんに抱っこされて遊んでいた赤ちゃんが、ふと後ろを振り向くとママじゃなかったとわかり大泣きしていましたが、お兄さんは人見知りのこと教えてもらっていたから、めげることもなく、おもちゃを渡してあげたりして遊んでいました。ラストには生徒さん代表の挨拶、先生からの挨拶があり、最後、ママからは「今日は遊んでいただきありがとうございます。みなさんも赤ちゃんのとき、今日のようにたくさんの周りの人やご両親に大事にされて育っていると思います。ぜひ今夜おうちの人と話してみてください!」と素敵な挨拶をされていました。企画に参加した生徒さんがどれだけその夜ご両親と話したかどうかはわかりませんが、自分の心の中で、素直に命の尊さや、親への感謝や、赤ちゃんの可愛さを感じてくれたことと思います。

赤ちゃんにすごいパワーがあることをよくわかって、自主的にこの活動を随分前から企画されたピッコロの皆さん方や、ママたちに感動です。この様な企画の良さを知った地域が、少し似たような企画をされていると聞きましたが、私は、行政のみなさんがこの取り組みに一度は参加してみて大切さを実感して、全国的な取り組みにしてほしい、と心から思いました。この取り組みをすることで、命の大切さの教育にもなるし、虐待も減るし、自己肯定感も育ち、今とても大事と言われている共感力も育つのではないかと思います。ぜひ、こんな取り組みにこそちゃんと国が予算つけてほしいと思いました。

みなさん、お疲れさまでした!!また、遊びに行かせてください!

コロナ禍となり中止となっていた“赤ちゃんのチカラプロジェクト”がついに再始動!3年ぶり、待ちに待った生徒・親子・講師とも対面での開催。どのようにしたら親子や生徒たちが安心して、十分に交流できるのか…。期待と不安の入り混じる中での準備となりましたが、予想を上回る親子のお申込み、中学校側や支援者のみなさんのご協力を得て、最初の不安も吹き飛ばすような温かく、「開催できて本当によかった!」と思う時間になりました。

はじめに赤ちゃんの発達やあやし方について各クラスで座学をした後、いよいよ親子とご対面。おすわりやハイハイ時期の赤ちゃんを膝の上に座らせたり、おもちゃを使ってあやしてみたり。生徒さんも座学の時間に学んだ事を活かし、積極的に関わっている姿が印象的でした。お手伝いの支援者のサポートもありながら、お母さんやお父さんから日頃赤ちゃんとのように過ごしているのか、育児の様子を生で聞き取ることができ、貴重なふれあいの時間となりました。この時間を通して、生徒の皆さんに「あなたは大切な存在。応援しているよ」というメッセージが届くことを願っています。



清瀬市 赤ちゃんのチカラ プロジェクト



清瀬市 公立全中学校
中学3年生を対象に!



令和4年度 清瀬市 赤ちゃんのチカラプロジェクト 報告

- 期間: 令和4年7/7~10/12までの計6日間
- 対象: 市内中学校全5校 17クラス
中学3年生
- 内容: 各クラス 座学 50分
ふれあいの時間 50分
- 協力親子数: のべ 64組
- 協力支援者数: のべ 84名



ご協力ありがとうございました

★赤ちゃんのチカラプロジェクトとは…
2010年、ピッコロが朝日新聞厚生文化事業団の助成金を受けスタートしました。その後2年間の試行を経て、2012年より清瀬市教育委員会の事業として赤ちゃんとお母さんのご協力をいただいております。
(中学校はピッコロが、小学校はNPO法人ウィズアイさんが行っています。)自尊心を持つことが大切な思春期にだからこそ大切な授業と思っています。



★引き続き ご協力ください★

会員の皆さまには日頃より感染対策にご協力いただき、心から感謝しております
今後も、新型コロナウイルス感染症対策チェックリストを活用しての支援へのご協力をよろしくお願いいたします



赤ちゃんのチカラプロジェクトに参加して



我が家は子どもを連れ、夫婦で参加しました。コロナ禍ということもあり参加することに抵抗がありましたが、コロナ禍のため普段家族としか接することのない我が子にとって、中学生の方々に「可愛い～!!」と言ってもらったり抱っこしてもらえたことは貴重な体験であり、いい刺激にもなったと思います。普段中学生と接することはありませんが今回このプロジェクトに参加したことで、中学校や中学生の雰囲気を感じ、我が子も数年後はこんな風になるのかなと楽しみになりました。それと同時に、親に反抗ばかりしていた私自身の中学時代の頃を思い出し、子育てをした親の偉大さと親へ感謝する気持ちを改めて感じました。木崎綾乃

僕は赤ちゃんのチカラプロジェクトに興味があり参加しました。触れ合いの時間では我が子を含め、泣いている赤ちゃんがたくさんいました。その赤ちゃんの姿が中学生にはどう映っていたのか、可愛いと感じた方もいれば、どう接したらいいのか分からないと感じた方もいると思います。

普段赤ちゃんに接する頻度、赤ちゃんに対する考え方なども様々だと思いますが、特に中学生の方々には今回の機会ですし少しでも赤ちゃんについて感じられて、一人でも多くの方がこれから先の人生にプラスになればいいと感じました。木崎龍太

ホームビジター養成講座 修了生が7名誕生しました

ホームスタートとは、未就学児が1人でもいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問する「家庭訪問型子育て支援ボランティア」。週に1、2回程度、おおむね2～3ヶ月間訪問し、滞在中は友人のように寄り添いながら同じ時間を過ごします。ピッコロでは2007年から、「幼いきょうだいがいる」「引っ越してきたばかりで地域に慣れていない」など様々な理由で子育てに不安を感じているお母さんたちのニーズ寄り添いながら、大切に活動してきました。

7日間の養成講座では、「傾聴」（気持ちを受け止めながら話を聴く）や「協働」（育児家事や外出を一緒にする）の学びをグループワーク中心に行っていきます。アットホームな雰囲気の中、少しずつ受講者の皆さんが打ち解けて、和やかな講座となりました。ビジターさんとしての今後の活躍を期待しています！



【受講者の感想】

- *週に1度の尊い学びの時間がなくなるのが、さみしくあつたりします。ホームスタートを通して、どんな出会いがあるのか、どんな交流ができるか、ワクワクしています。楽しみながら続けて行きたいと思います。
- *他の支援で訪問に行く時も、初めてそのお宅に伺う時の緊張感がとても感じます。と同時に、利用者さんも初めて迎える時は同じだと思うので、できるだけ利用者さんがリラックスできるよう、自然体で接するよう心がけたいです。
- *共感・寄り添う。苦手な部分ですが、自分に挑戦、「なりたい先輩」を目指して頑張ります。

《会員状況 2022.11.1 現在》正会員 110名・準会員 70名・賛助会員 12名（団体2名・個人10名）

2022年度、居場所づくりを開始しますので、皆さまからのご寄付どうぞよろしくお願いいたします。

♥法人会員♥



新鮮こだわり中国料理

同心居



(株)関工務店



■NPOの活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にぼち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】ゆうちょ銀行【口座名】子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】00190-6-602187

9月～10月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場 ◆ファミサポ HS=ホームスタート HV=ホームビジター	
9/1(木) HS ホームビジター養成講座～10/13(木)毎週木曜日開催 9/2(金)学童クラブ指定管理第3者評価職員説明(梅園・清明小・四小) ○東京都子供が輝く応援事業検討委員会 9/5(月)◆調整会議(ころぼっくる地域活動室) △K-net 運営会議△つどいの広場調整会議 9/6(火)○事務連 9/7(水)○定例会 9/8(木)○学童クラブ研修会(梅園)内田先生 9/9(金)△K-net 子育てひろば(アイレック会議室) ○学童クラブ研修会(清明小)内田先生 9/13(火)◆3～4 か月健診 9/14(水)△中里ひろば 9/16(金)○学童クラブ研修会(四小)内田先生 9/28(水)△K-net リフレッシュ講座 10/3(月)◆調整会議△K-net 運営会議 △つどいの広場調整会議 10/5(水)◆保育サービス講習会 ～10/27(木) 10/7(金)○正会員のつどい 10/11(火)◆3～4 か月健診(ファミサポ説明) 10/14(金)△K-net 子育てひろば(アイレック会議室) 10/28(四小)○東京都子供が輝く応援事業検討委員会 ※赤ちゃんのチカラプロジェクト 8/31(五中) 9/6(四中)、9/16(三中)、10/11・12(二中) ※学童クラブ第三者評価 10/14(梅園)10/18(清明)10/28(四小) ※学童クラブ運営委員会 10/5(清瀬第1) 10/12(清明小)10/13(十小)10/14(八小) 10/18(四小) 10/19(梅園)10/20(中清戸) 10/27(清瀬第2)	10/31・11/1(火)10:00～HS 産前産後ホームスタート養成講座 11/2(水)10:00～/11:00～○定例会(けやきホール/セミナーハウス) 11/7(月)9:15～ ◆調整会議(ころぼっくる地域活動室) 9:30～△K-net 運営会議(事務所) 13:00～△つどいの広場調整会議(元町つどい) 11/8(火)12:30～◆3～4 か月健診(市役所) 9:45～○事務連(中清戸学童クラブ) 11/10(木)9:30～○養育支援ヘルパー養成講座(～12/9まで毎週木曜日開催) 11/11(金)10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室) 11/16(水)9:45～○学童クラブ研修会(ころぼっくるホール) 八重樫貴之氏(作業療法士) 対象:全学童クラブ職員 11/17(木)10:00～△K-net リフレッシュ講座(消費生活センター) 11/18(金)18:30～○東京都子供が輝く応援事業検討委員会(事務所) 11/19(土)14:00～HV 東京 HS ビジターデー(消費生活センター会議室) 11/24(木)16:00～○東京都子供が輝く応援事業 ヒアリング 12/1(木)10:00～△K-net リフレッシュ講座(ころぼっくる会議室) 12/2(金)10:00～/11:00～○正会員のつどい(けやきホール/第3会議室) 12/4(日)10:00～/11:00～◆全体交流会(生涯学習センター/講座室) 12/5(月)9:15～ ◆調整会議(ころぼっくる地域活動室) 9:30～△K-net 運営会議(事務所)△つどい 12/6(火)9:45～ ○事務連(清小第一学童クラブ) 12/9(金)△K-net 子育てひろば(アイレック会議室) 12/13(火)12:30～◆3～4 か月健診(市役所) 12/15(木)9:45～HV スキルアップ研修会(消費生活センター/会議室) 1/6(金)10:00～/11:00～○定例会(けやきホール/セミナーハウス)

《編集後記》

三年ぶりに対面での開催が実現した清瀬市赤ちゃんのチカラプロジェクト。中学校側、たくさんの方の協力を得て、無事終了した。大人と子どもが入り交ざる思春期のこの時、誰もが「自分は何者なのか」と問い、その答えを探して揺れ動く。時に苦しい時を過ごすことも多いだろう。

そんな中、赤ちゃんの愛らしい姿、親が抱きあげる姿を見て、その命の重みに触れ、「昔も今も、自分も同じように大切な存在で、誰かにとって特別な存在なのだ」と少しでも、客観的に自分を認めることができたなら…。そして、参加した子育て中の親にとって、我が子を「かわいい」と言っても、そういうことで励まされ、元氣を得る…。「これほど尊く、素敵な学びがあるだろうか!」と、やはりこの事業の大切さを感じる。これから、中学三年生と赤ちゃん親子との出会いを繋いでいきたい。